



第6回市場公募地方債
発行団体合同IR説明会
参考資料

川崎市の財政関連データ

平成19年10月29日

川崎市財政局

目 次

< 市勢概要 >	市勢概要	1	< 財政健全化 >	第2次改革プランに基づく財政フレーム(平成17年3月策定)	21
	経済活動別市内総生産の推移	2		主な出資法人の経営状況(平成18年度末)	22
	「研究開発型都市」への変貌	3		債務負担行為の状況(平成18年度普通会計決算)	25
< 財政状況 >	平成18年度一般会計 歳入決算の状況	4		総合的土地対策計画	26
(決算関係)	平成18年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	5	< 財政指標 >	財政関係指標の推移	27
	平成18年度一般会計 目的別(款別)決算の状況	6		一般会計基礎的財政収支(プライマリーバランス)	28
	平成18年度 公営企業会計決算の状況	7	< 基金の状況 >	基金積立金現在高	29
	平成18年度 特別会計決算の状況	8		財政調整基金・減債基金の推移	30
	一般会計決算の推移(平成4～18年度)	9	< 市債の状況 >	市債残高・市債発行額及び公債費の推移	31
	税目別市税収入推移(平成4～18年度)及び	10		市場公募債の発行状況	32
	平成18年度政令指定都市別市税決算額と構成比			平成19年度 市債発行に関する基本的な考え方	33
	特別会計決算の推移(平成14～18年度)	11		平成19年度 市債発行計画(全会計ベース)	34
(予算関係)	平成19年度一般会計 歳入予算の状況	12		平成19年度 市債引受シンジケート団引受率表	35
	平成19年度一般会計 性質別当初予算	13	< 経営ビジョン >	川崎市新総合計画「フロンティアプラン」	36
	平成19年度一般会計 款別当初予算(歳出)	14		重点戦略プラン計画事業費	37
	平成19年度 公営企業会計収益・資本別当初予算	15		今後の重要施策 ～ 神奈川口構想	38
	平成19年度 特別会計当初予算	16		今後の重要施策 ～ 都市基盤整備事業計画	39
(B/S)	川崎市全体のバランスシート(平成17年度末時点)	17		川崎市アクセスマップ	40
	連携協力団体との連結バランスシート(試案)	18			
	川崎市普通会計バランスシート	19			
	行政コスト計算書(普通会計)	20			

注:単位未満端数処理のため、数字の合計が合わない場合があります。

市勢概要

人口増加率は大都市の中でトップ

川崎市の人口 1,369,443人
 男性 707,736人
 女性 661,707人
 (平成19年10月1日現在)

【大都市人口増加率ランキング】

人口増加率(%)		
1	川崎市	6.2
2	福岡市	4.4
2	横浜市	4.4
4	東京都区部	4.3
5	千葉市	4.2
6	さいたま市	3.8
7	札幌市	3.2
8	神戸市	2.1
9	名古屋市	2.0
10	広島市	1.8
11	仙台市	1.7
12	大阪市	1.2
13	京都市	0.0
14	静岡市	-0.8
15	北九州市	-1.8
大都市平均		2.4
全国平均		0.7

出所:平成17年国勢調査(速報値)
 注:増加率は対12年調査



川崎市の面積 144.35km²

東京都の東南に隣接、神奈川県東北端に位置

丘陵部
 急激な宅地化

内陸部
 住宅・事務所が密集

臨海部
 重化学工業工場群と事務所

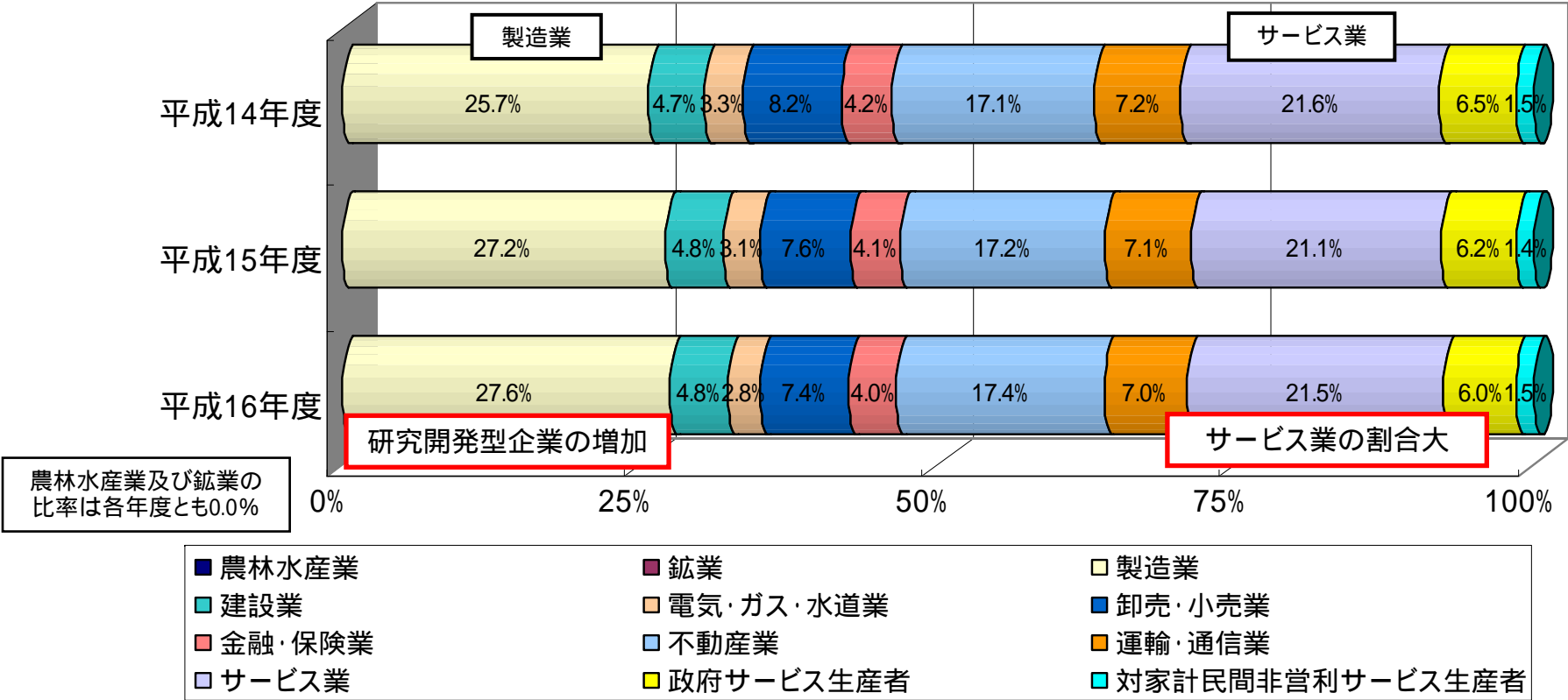
	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	全市
人口(人)	210,839	146,971	219,728	210,725	211,907	207,993	161,280	1,369,443
面積(Km ²)	40.25	10.09	14.81	17.10	18.60	20.39	23.11	144.35

平成19年10月1日現在

経済活動別市内総生産の推移

製造業における「研究開発型企业」の増加とサービス業の割合拡大
 ~ 生産都市から研究開発型都市へ ~

【経済活動別市内総生産構成比の推移】



輸入品に課される税・関税、消費税、帰属利子などは除外して算出している。
 出所：「川崎市統計書 平成18年版」

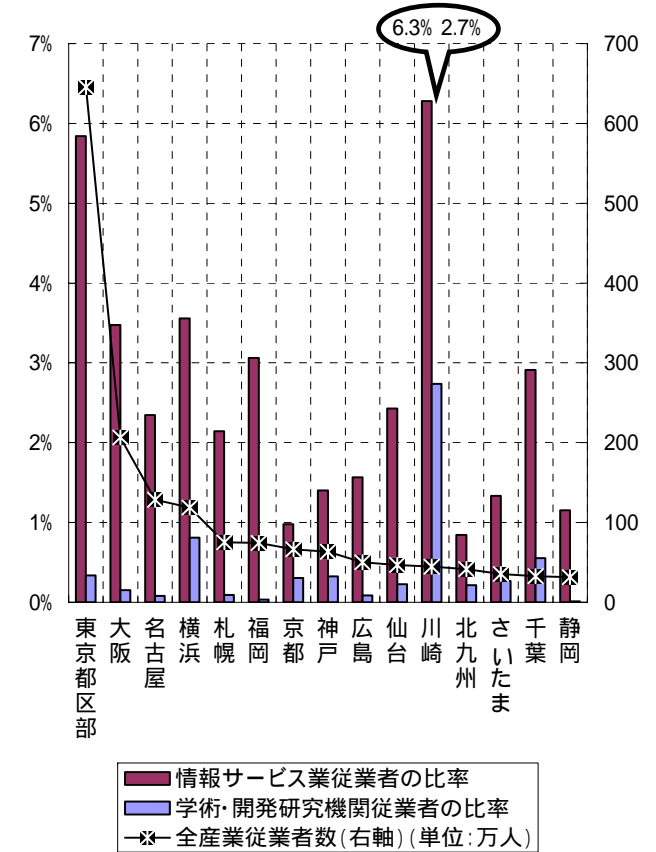
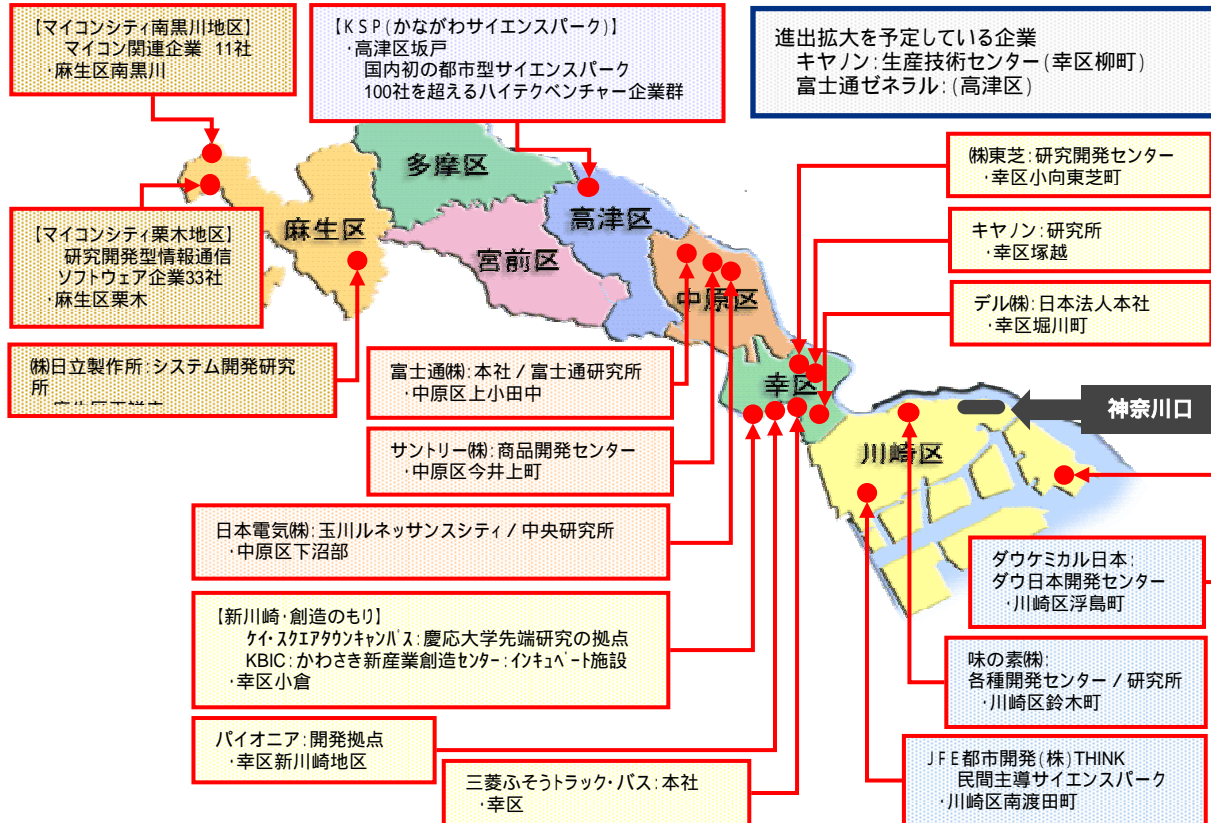
「研究開発型都市」への変貌

大手企業をはじめとした研究開発拠点の集積都市



ハイテクラインのJR南武線の沿線には、
200を超える研究開発機関が集積
懸念されていた臨海部の遊休地等も減少しつつある

情報サービス業、学術・開発研究機関
に従事する人の比率は、
ともに大都市No.1



出所:「大都市比較統計年表(平成17年)」(大都市統計協議会)

平成18年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	前年度比較		構 成 比	
				増減額	増減率	平成17年度	平成18年度
市税	254,759	262,779	270,263	7,484	2.8	51.6	51.0
地方交付税	753	633	566	67	10.6	0.1	0.1
国県支出金	70,066	71,369	69,658	1,711	2.4	14.0	13.1
財産収入	2,794	6,506	2,538	3,968	61.1	1.3	0.5
繰入金	4,905	2,766	16,113	13,347	482.5	0.5	3.0
諸収入	44,143	43,923	42,637	1,286	2.9	8.6	8.0
市債	67,506	52,102	55,891	3,789	7.3	10.2	10.5
その他収入	68,514	69,421	72,804	3,383	4.9	13.7	13.8
合 計	513,440	509,499	530,470	20,971	4.1	100.0	100.0
自主財源	335,884	344,348	360,755	16,407	4.8	67.6%	68.0%
依存財源	177,556	165,151	169,715	4,564	2.8	32.4%	32.0%

平成18年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成16年度		平成17年度		平成18年度		前年度比較		前年構成比 の差
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	
義務的経費	249,765	49.1	256,189	48.9	276,834	52.8	20,645	8.1	3.9
人件費	115,133	22.6	112,500	21.5	111,631	21.3	869	0.8	0.2
扶助費	79,325	15.6	81,232	15.5	84,406	16.1	3,174	3.9	0.6
公債費	55,307	10.9	62,457	11.9	80,797	15.4	18,340	29.4	3.5
投資的経費	83,363	16.4	74,795	14.3	80,172	15.3	5,377	7.2	1.0
その他経費	176,001	34.5	173,168	33.1	167,140	31.9	6,028	3.5	1.2
合 計	509,129	100.0	504,152	96.3	524,146	100.0	19,994	4.0	**

平成18年度一般会計 目的別(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成16年度		平成17年度		平成18年度		前年度比較		前年構成比 の差
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率	
議 会 費	1,660	0.3	1,667	0.3	1,660	0.3	7	0.4	0.0
総 務 費	53,481	10.5	52,641	10.4	52,534	10.0	107	0.2	0.4
市 民 費	14,870	2.9	7,879	1.6	8,064	1.6	185	2.4	0.0
健 康 福 祉 費	127,257	25.0	125,780	24.9	127,287	24.3	1,507	1.2	0.6
環 境 費	33,710	6.6	30,164	6.0	28,515	5.5	1,649	5.5	0.5
経 済 費	16,119	3.2	15,459	3.1	15,696	3.0	237	1.5	0.1
建 設 費	30,149	5.9	23,141	4.6	24,271	4.6	1,130	4.9	0.0
港 湾 費	8,566	1.7	8,827	1.7	9,233	1.8	406	4.6	0.1
まちづくり費	22,499	4.4	25,593	5.1	29,244	5.6	3,651	14.3	0.5
区 役 所 費	-	-	8,561	1.7	9,093	1.7	532	6.2	0.0
消 防 費	17,997	3.5	17,173	3.4	17,329	3.3	156	0.9	0.1
教 育 費	47,791	9.4	48,248	9.6	48,929	9.3	681	1.4	0.3
公 債 費	55,847	11.0	63,013	12.5	81,364	15.5	18,351	29.1	3.0
諸 支 出 金	79,183	15.6	76,006	15.1	70,927	13.5	5,079	6.7	1.6
合 計	509,129	100.0	504,152	100.0	524,146	100.0	19,994	4.0	**

区役所費は、平成17年度から創設された。

平成18年度 公営企業会計決算の状況

(単位:百万円)

項目 / 会計別	病院事業		下水道事業		水道事業		工業用水道事業		自動車運送事業		高速鉄道事業	
	17	18	17	18	17	18	17	18	17	18	17	18
収益的収支												
収入	24,054	30,239	40,748	40,087	35,559	36,315	8,649	8,271	9,882	9,981	**	**
支出	23,584	31,291	40,043	39,243	34,935	34,285	8,259	8,292	9,837	10,010	**	**
差引	470	1,052	705	844	664	2,030	390	21	45	29	**	**
資本的収支												
収入	13,283	871	35,095	37,168	3,495	2,537	1,255	172	847	1,157	314	299
支出	15,198	2,495	54,212	53,345	9,901	8,389	2,508	921	1,267	1,876	308	294
差引	1,915	1,624	19,117	16,177	6,406	5,852	1,253	749	420	719	6	5
補てん財源等	1,915	1,624	19,117	16,177	6,406	5,852	1,253	749	420	719	0	0
繰越工事資金	398	0	748	621	**	**	**	**	**	**	0	0
損益勘定留保金	1,488	1,622	14,564	14,561	5,480	5,195	1,041	438	378	658	**	**
その他	29	2	3,805	995	926	657	212	311	42	61	**	**
繰越利益剰余金(欠損金)年度末残高	17,472	17,036	0	0	746	473	872	1,049	11	14	**	**
前年度利益剰余金処分額	**	**	**	**	746	473	120	298	**	1	**	**
当年度純利益(純損失)	436	1,059	0	0	473	1,833	298	34	3	88	**	**
当年度末処分利益剰余金(欠損金)	17,036	18,095	0	0	473	1,833	1,050	717	14	75	**	**

平成18年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円・%)

会計別	平成17年度				平成18年度			
	歳入決算額	構成比	歳出決算額	構成比	歳入決算額	構成比	歳出決算額	構成比
競輪事業会計	30,814	6.1	30,790	6.1	25,588	4.8	25,461	4.8
中央卸売市場事業会計	2,310	0.5	2,310	0.5	2,821	0.5	2,821	0.5
国民健康保険事業会計	102,711	20.4	102,477	20.4	108,081	20.3	107,753	20.3
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	503	0.1	360	0.1	509	0.1	269	0.1
老人保健医療事業会計	70,017	13.9	69,817	13.9	67,838	12.7	67,654	12.8
公害健康被害補償事業会計	116	0.0	97	0.0	122	0.0	94	0.0
介護老人保健施設事業会計	425	0.1	425	0.1	562	0.1	562	0.1
介護保険事業会計	44,056	8.7	42,841	8.6	47,242	8.9	46,103	8.7
港湾整備事業会計	1,096	0.2	1,072	0.2	1,089	0.2	1,047	0.2
勤労者福祉共済事業会計	125	0.0	110	0.0	129	0.0	103	0.0
墓地整備事業会計	810	0.2	747	0.1	563	0.1	417	0.1
生田緑地ゴルフ場事業会計	458	0.1	182	0.0	557	0.1	261	0.1
公共用地先行取得等事業会計	15,888	3.2	15,888	3.2	13,504	2.6	13,504	2.5
公債管理会計	234,374	46.5	234,374	46.8	264,282	49.6	264,282	49.8
合 計	503,709	100.0	501,491	100.0	532,893	100.0	530,332	100.0

会計ごとに端数処理しているため合計と一致しない場合がある。

一般会計決算の推移（平成4～18年度）

(1) 歳入 自主財源・依存財源別推移

(単位:億円)

区分/年度(平成)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
自主財源	3,668	3,695	3,545	3,554	3,556	3,785	3,605	3,615	3,472	3,559	3,456	3,559	3,359	3,443	3,608
市税	2,732	2,718	2,595	2,714	2,737	2,853	2,756	2,731	2,657	2,687	2,627	2,551	2,548	2,628	2,703
その他	936	976	950	840	819	932	850	884	815	872	829	1,008	811	815	905
依存財源	1,110	1,425	1,610	1,621	1,472	1,316	1,729	1,723	1,986	1,784	1,831	2,284	1,776	1,652	1,697
地方交付税	7	7	7	7	7	42	67	168	204	111	66	9	8	7	6
市債	435	674	867	852	727	560	759	541	804	682	744	1,228	675	521	559
国庫支出金	386	448	416	444	442	440	565	623	513	526	617	622	637	638	612
その他	283	296	321	319	296	274	337	391	465	465	404	425	456	486	520
合 計	4,778	5,119	5,155	5,175	5,027	5,101	5,334	5,338	5,458	5,343	5,287	5,842	5,134	5,095	5,305
自主財源比率 (%)	76.8%	72.2%	68.8%	68.7%	70.7%	74.2%	67.6%	67.7%	63.6%	66.6%	65.4%	60.9%	65.4%	67.6%	68.0%

(2) 歳出 義務的経費・投資的経費・その他経費別推移

(単位:億円)

区分/年度(平成)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
義務的経費	1,918	2,052	2,090	2,186	2,368	2,346	2,387	2,511	2,454	2,568	2,548	2,691	2,497	2,562	2,768
人件費	1,197	1,232	1,252	1,289	1,278	1,294	1,304	1,316	1,301	1,297	1,254	1,210	1,151	1,125	1,116
扶助費	346	365	397	425	467	499	540	584	574	615	677	745	793	812	844
公債費	376	454	441	472	622	553	544	610	579	656	617	736	553	625	808
投資的経費	1,239	1,351	1,363	1,259	937	863	1,008	851	1,062	920	936	956	834	748	802
その他経費	1,513	1,648	1,647	1,668	1,683	1,846	1,846	1,926	1,895	1,803	1,763	2,151	1,760	1,732	1,671
合 計	4,670	5,051	5,100	5,113	4,987	5,055	5,241	5,288	5,411	5,290	5,247	5,798	5,091	5,042	5,241

項目ごとに端数処理しているため、合計と一致しない場合がある。

税目別市税収入推移（平成4～18年度）

（単位：億円）

税目/年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
個人市民税	1,077	1,067	906	949	9,921	1,019	951	908	877	890	892	860	843	890	972
法人市民税	233	197	187	203	231	229	181	172	181	197	165	187	213	247	294
固定資産税	1,012	1,047	1,088	1,124	1,155	1,155	1,187	1,207	1,169	1,167	1,150	1,100	1,096	1,096	1,049
その他	409	408	413	438	430	450	437	444	430	433	420	404	396	395	388
合計	2,731	2,719	2,594	2,714	11,737	2,853	2,756	2,731	2,657	2,687	2,627	2,551	2,548	2,628	2,703

平成18年度 政令指定都市別市税決算額と構成比

（単位：百万円、％）

	市税	個人市民税		法人市民税		固定資産税		その他		
		市税構成比	市税構成比	市税構成比	市税構成比	市税構成比	市税構成比			
決算額	川崎市	270,262	97,221	36.0%	29,408	10.9%	104,917	38.8%	38,716	14.3%
	札幌市	265,979	82,267	30.9%	33,122	12.5%	104,393	39.2%	46,197	17.4%
	仙台市	169,560	50,871	30.0%	26,872	15.8%	65,858	38.8%	25,959	15.3%
	さいたま市	203,616	78,732	38.7%	23,975	11.8%	73,518	36.1%	27,391	13.5%
	千葉市	167,704	56,872	33.9%	22,959	13.7%	64,441	38.4%	23,432	14.0%
	横浜市	685,452	270,246	39.4%	65,753	9.6%	256,826	37.5%	92,627	13.5%
	新潟市	111,695	33,059	29.6%	13,432	12.0%	49,167	44.0%	16,037	14.4%
	静岡市	120,515	36,370	30.2%	14,059	11.7%	52,437	43.5%	17,649	14.6%
	浜松市	126,358	40,507	32.1%	17,637	14.0%	51,900	41.1%	16,314	12.9%
	名古屋市	495,153	149,068	30.1%	91,063	18.4%	182,814	36.9%	72,208	14.6%
	京都市	249,737	73,397	29.4%	38,625	15.5%	98,119	39.3%	39,596	15.9%
	大阪市	652,624	115,551	17.7%	168,032	25.7%	263,524	40.4%	105,517	16.2%
	堺市	122,702	38,538	31.4%	12,759	10.4%	51,564	42.0%	19,841	16.2%
	神戸市	262,578	82,094	31.3%	32,682	12.4%	107,957	41.1%	39,845	15.2%
	広島市	200,173	60,890	30.4%	28,970	14.5%	79,893	39.9%	30,420	15.2%
	北九州市	159,254	38,160	24.0%	19,977	12.5%	72,736	45.7%	28,381	17.8%
	福岡市	259,150	72,614	28.0%	45,111	17.4%	101,825	39.3%	39,600	15.3%
	指定都市計	4,522,512	1,376,457	30.4%	684,436	15.1%	1,781,889	39.4%	679,730	15.0%

川崎市以外の都市のデータは見込数字である

特別会計決算の推移（平成14～18年度）

（単位：百万円）

会計別 / 年度(平成)	14年度			15年度			16年度			17年度			18年度		
	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引
競輪事業	41,076	40,822	254	36,934	36,769	165	31,647	31,372	275	30,814	30,790	24	25,588	25,461	127
中央卸売市場事業	2,586	2,586	0	2,363	2,363	0	2,443	2,443	0	2,310	2,310	0	2,821	2,821	0
国民健康保険事業	82,899	82,603	296	93,086	92,756	330	95,932	95,610	322	102,711	102,477	234	108,081	107,753	328
母子寡婦福祉資金貸付事業	382	373	9	432	411	21	472	439	33	503	360	143	509	269	240
老人保健医療事業	71,407	70,874	533	70,190	70,094	96	69,403	69,299	104	70,017	69,817	200	67,838	67,654	184
公害健康被害補償事業	108	102	6	113	102	11	112	97	15	116	97	19	122	94	28
介護老人保健施設事業	424	424	0	442	442	0	419	419	0	425	425	0	562	562	0
介護保険事業	33,092	32,791	301	36,229	36,031	198	40,814	40,402	412	44,056	42,841	1,215	47,242	46,103	1,139
港湾整備事業	1,013	1,013	0	4,826	4,727	99	2,548	2,548	0	1,096	1,072	24	1,089	1,047	42
勤労者福祉共済事業	161	145	16	145	145	0	124	118	6	125	110	15	129	103	26
墓地整備事業	508	472	36	215	172	43	186	141	45	810	747	63	563	417	146
生田緑地ゴルフ場事業	472	235	237	523	395	128	409	232	177	458	182	276	557	261	296
公共用地先行取得等事業	24,437	24,437	0	25,422	25,422	0	21,550	21,550	0	15,888	15,888	0	13,504	13,504	0
公債管理	165,689	165,689	0	176,496	176,496	0	207,682	207,682	0	234,374	234,374	0	264,282	264,282	0
マイコンシティ事業	6,260	6,260	0	10,865	10,865	0									
交通災害共済事業	340	340	0	146	146	0									
合 計	430,854	429,166	1,688	458,427	457,336	1,091	473,741	472,352	1,389	503,709	501,491	2,218	532,893	530,332	2,561

会計ごとに端数処理をしているため、合計と一致しない場合がある。

(注) 1. 平成15年度にマイコンシティ事業、交通災害共済事業を廃止。

平成19年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分		平成18年度 当初予算		平成19年度 当初予算		増減額	増減率
			構成比		構成比		
自主財源	市 税	261,879	48.0	282,192	51.1	20,313	7.8
	使用料及び手数料	16,959	3.1	17,986	3.3	1,027	6.1
	繰入金	41,207	7.6	35,294	6.4	5,913	14.3
	分担金及び負担金	7,703	1.4	6,955	1.3	748	9.7
	諸収入	43,998	8.1	43,051	7.8	711	1.6
	その他	5,473	1.0	7,619	1.4	2,146	39.2
	計	377,219	69.2	393,097	71.3	15,878	4.2
依存財源	市 債	58,060	10.6	53,358	9.7	4,702	8.1
	国庫支出金	59,032	10.8	63,811	11.6	4,778	8.1
	地方交付税	700	0.1	600	0.1	100	14.3
	その他	50,593	9.3	41,528	7.5	3,684	7.3
	計	168,385	30.8	159,297	28.7	9,088	5.4
歳 入 規 模		545,604	100.0	552,394	100.0	6,790	1.2

平成19年度一般会計 性質別当初予算

(単位:百万円・%)

区 分		平成18年度 予算額		平成19年度 予算額		増減額	増減率
			構成比		構成比		
義務的経費	人件費	113,434	20.8	114,742	20.8	1,308	1.2
	扶助費	85,932	15.7	91,925	16.6	3,151	3.7
	公債費	81,283	14.9	77,159	14.0	4,125	5.1
	小 計	280,649	50.2	283,826	51.4	3,177	1.1
投資的経費	普通建設事業費	80,509	14.8	77,779	14.1	2,730	3.4
	うち単独事業費	49,194	9.0	44,259	8.0	4,935	10.0
	小 計	80,509	14.8	77,779	14.1	2,730	3.4
その他の経費	物件費	54,105	9.9	56,435	10.2	2,330	4.3
	維持補修費	6,182	1.1	6,275	1.1	93	1.5
	補助費等	56,677	10.4	57,662	10.4	4,127	7.3
	繰出金	28,193	5.2	28,729	5.2	3,475	12.3
	その他	39,288	7.5	41,688	7.5	2,399	6.1
	小 計	184,445	35.8	190,788	34.5	6,343	3.4
合 計		545,604	100.0	552,393	100.0	6,789	1.2

平成19年度一般会計 款別当初予算(歳出)

(単位:百万円・%)

区 分	平成18年度 予算額		平成19年度 予算額		増減額	増減率
		構成比		構成比		
議会費	1,697	0.3	1,684	0.3	2	0.2
総務費	54,573	10.1	57,299	10.4	2,726	5.0
市民費	8,459	1.6	8,744	1.6	285	3.4
健康福祉費	131,064	24.0	136,537	24.7	5,473	4.2
環境費	29,386	5.4	29,379	5.3	693	2.4
経済費	15,794	2.9	17,499	3.2	1,705	10.8
建設費	25,790	4.7	27,057	4.9	1,267	4.9
港湾費	10,757	2.0	11,478	2.1	1,895	17.6
まちづくり費	31,457	5.8	29,040	5.3	2,417	7.7
区役所費	9,223	1.7	9,549	1.7	605	6.6
消防費	18,115	3.3	18,852	3.4	737	4.1
教育費	46,641	8.5	45,846	8.3	795	1.7
公債費	81,884	15.0	77,847	14.1	4,037	4.9
諸支出金	80,264	14.7	81,083	14.7	818	1.0
予備費	500	0.1	500	0.1	—	—
合 計	545,604	100.0	552,394	100.0	35,007	6.4

平成19年度 公営企業会計収益・資本別当初予算

(単位:百万円)

項目/会計別		病院 事業会計	下水道 事業会計	水道 事業会計	工業用水道 事業会計	自動車運送 事業会計	高速鉄道 事業会計	合 計
収益的 収支	収 入	32,681	41,447	35,755	8,330	10,003	-	128,215
	支 出	33,945	40,687	34,504	8,360	10,207	-	127,703
	差 引	1,264	767	1,251	30	204	-	1,377
資本的 収支	収 入	2,095	44,180	3,079	404	930	374	51,061
	支 出	4,291	59,802	9,372	1,149	1,572	369	76,855
	差 引	1,659	15,623	6,165	744	642	5	24,828

平成19年度 特別会計当初予算

(単位:百万円、%)

会計別	平成18年度予算		平成19年度予算		前年度比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
競輪事業会計	32,552	5.9	31,535	6.0	1,017	3.1
卸売市場事業会計	2,881	0.5	2,566	0.5	315	10.9
国民健康保険事業会計	110,524	20.3	123,278	23.6	12,754	11.5
母子寡婦福祉資金貸付事業会計	450	0.1	360	0.1	90	20.1
老人保健医療事業会計	69,263	12.7	69,442	13.3	179	0.3
公害健康被害補償事業会計	115	0.0	112	0.0	3	2.2
介護老人保健施設事業会計	589	0.1	498	0.1	91	15.4
介護保険事業会計	47,993	8.8	51,239	9.8	3,245	6.8
港湾整備事業会計	1,091	0.2	1,402	0.3	311	28.5
勤労者福祉共済事業会計	121	0.0	123	0.0	2	1.8
墓地整備事業会計	491	0.1	420	0.1	71	14.5
生田緑地ゴルフ場事業会計	381	0.1	395	0.1	—	—
公共用地先行取得等事業会計	16,798	3.1	8,875	1.7	7,923	47.2
公債管理会計	262,495	48.1	231,551	44.4	30,944	11.8
合 計	545,744	100.0	521,796	100.0	23,948	4.4

会計ごとに端数処理をしているため、合計と一致しないことがある。

川崎市全体のバランスシート(平成17年度末時点)

(単位:億円)

区 分		普通会計	特別会計	公営企業会計	単純合計	全会計
資 産	1.有形固定資産	19,273	1,431	10,519	31,223	31,223
	土木費	11,808				
	教育費	3,776				
	衛生費	1,649				
	総務費	1,050				
	その他	990				
	(土地)	(10,177)				
	2.投資等	1,967	135	217	2,319	1,507
	投資及び出資金	1,248	0	113	1,361	549
	貸付金	373	37	0	410	410
	基金ほか	346	98	104	548	548
	3.流動資産	370	166	342	878	860
	現金・預金	222	20	173	415	433
未収金ほか	148	146	169	463	427	
4.繰延勘定		0	0	0	0	
資産合計	21,610	1,732	11,078	34,420	33,590	

(単位:億円)

区 分		普通会計	特別会計	公営企業会計	単純合計	全会計
負 債	1.固定負債	9,051	270	5,467	14,788	14,788
	地方債	8,259	245	5,247	13,751	13,751
	債務負担行為	62	0	0	62	62
	引当金	730	25	220	975	975
	2.流動負債	561	29	615	1,205	1,195
	地方債翌年度償還予定額	561	29	372	962	962
	その他		0	243	243	233
負債合計	9,612	299	6,082	15,993	15,983	
正 味 資 産	1.国庫支出金	2,360	0	2,415	4,775	
	2.県支出金	243	0	11	254	
	3.一般財源等	9,395	1,433	2,570	13,398	
正味資産合計	11,998	1,433	4,996	18,427	17,607	
負債・正味資産合計	21,610	1,732	11,078	34,420	33,590	

川崎市全体の財政状況をストック面から明らかにするため、国から示された基準に準拠して普通会計以外の特別会計及び公営企業会計を加えた全会計のバランスシートを平成12年度決算分から作成しています。

全会計のバランスシートを前年度と比較すると、資産合計は、前年度比300億円の増、負債合計は64億円の増、正味資産は236億円の増となっています。

また、本市が蓄積してきた有形固定資産のうち、資産合計に占める正味資産の割合は、51.9% (前年度比0.2ポイント増)となっています。

全会計を普通会計と比較して見ると、負債合計の倍率が大いことがわかります。これは、公営企業会計において、通常、企業活動の手段となる有形固定資産を整備する際にその原資として地方債が発行される割合が高いため、負債合計の比率が普通会計と比べて高いことによるものです。

連携協力団体との連結バランスシート(試案)(平成17年度末時点)

(単位:億円)

区分	普通会計	特別会計	公営企業会計	3セクター等	単純合計	全会計
1.有形固定資産	19,273	1,431	10,519	667	31,890	31,890
土木費	11,808					
教育費	3,776					
衛生費	1,649					
総務費	1,050					
その他	990					
(土地)	(10,177)					
2.投資等	1,967	135	217	623	2,942	1,700
投資及び出資金	1,248	0	113	0	1,361	480
貸付金	373	37	0	324	734	373
基金ほか	346	98	104	299	847	847
3.流動資産	370	166	342	866	1,744	1,717
現金・預金	222	20	173	124	539	561
未収金ほか	148	146	169	742	1,205	1,156
4.繰延勘定		0	0	2	2	2
資産合計	21,610	1,732	11,078	2,158	36,578	35,309

(単位:億円)

区分	普通会計	特別会計	公営企業会計	3セクター等	単純合計	全会計
1.固定負債	9,051	270	5,467	1,518	16,306	15,945
地方債	8,259	245	5,247		13,751	13,751
債務負担行為	62	0	0	0	62	62
引当金ほか	730	25	220	1,518	2,493	2,132
2.流動負債	561	29	615	395	1,600	1,581
地方債翌年度償還予定額	561	29	372	107	1,069	1,069
その他		0	243	288	531	512
負債合計	9,612	299	6,082	1,913	17,906	17,526
資産・負債差額						
1.国庫支出金	2,360	0	2,415	0	4,775	4,775
2.県支出金	243	0	11	0	254	254
3.他団体及び民間出資分		0	0	71	71	71
3.一般財源等	9,395	1,433	2,570	174	13,572	12,683
資産・負債差額合計	11,998	1,433	4,996	245	18,672	17,783
負債・正味資産合計	21,610	1,732	11,078	2,158	36,578	35,309

本市の市民サービスは、行政自ら行っているものと、出資法人等関係団体を活用して行っているものがあります。

そこで、関係団体を含めた財政情報を一体として開示するため、平成17年9月に国から示された基準に準拠して、全市バランスシートに一部事務組合、地方公社及び第3セクターのバランスシートを連結して、連結バランスシート(試案)を作成しました。

連結バランスシートと全会計バランスシートを比較して見ると、負債合計の倍率が他の項目と比較して大きくなっていますが、これは関係団体会計で負債合計の比率が高いことによるものです。

川崎市普通会計バランスシート

(単位:億円・%)

区 分		平成15年度末	平成16年度末	平成17年度末	差 引	増減率
資 産	1.有形固定資産	18,860	19,067	19,273	206	1.1
	総務費	1,100	1,081	1,050	31	2.8
	土木費	11,457	11,644	11,808	164	1.4
	商工費	297	291	286	5	1.8
	2.投資等	1,833	1,929	1,967	38	2.0
	3.流動資産	321	337	370	33	9.9
	資産合計	21,015	21,333	21,610	277	1.3
負 債	1.固定負債	8,940	9,102	9,051	51	0.6
	地方債	8,133	8,306	8,259	47	0.6
	2.流動負債	387	475	561	86	18.1
	負債合計	9,327	9,577	9,612	35	0.4
正味資産	1.国庫支出金	2,260	9,612	2,360	7,252	75.4
	2.県支出金	252	2,360	243	2,117	89.7
	3.一般財源等	9,175	243	9,395	9,152	3766.3
	正味資産合計	11,688	12,215	11,998	217	1.8
指 標	正味資産構成比率(%)	55.6	57.3	55.5	1.7	-

行政コスト計算書(普通会計)

[行政コスト]

(単位:百万円、%)

[収入項目]

(単位:百万円、%)

項目 / 年度(平成)		16年度		17年度	
		金額	構成比	金額	構成比
人的コスト	(1)人件費	99,921	25.6	98,428	25.2
	(2)退職給与引当金	10,325	2.6	10,181	2.6
	小計	110,246	28.2	108,609	27.8
物的コスト	(1)物件費	51,590	13.1	51,352	13.1
	(2)維持補修費	5,186	1.3	5,428	1.4
	(3)減価償却費	47,678	12.2	47,701	12.2
	小計	104,454	26.7	104,481	26.7
移転支出的コスト	(1)扶助費	79,321	20.3	81,218	20.8
	(2)補助費等	45,350	11.6	43,018	11.0
	(3)繰出金	31,220	8.0	28,567	7.3
	(4)普通建設事業費 (他団体等への補助金等)	6,237	1.6	5,524	1.4
	小計	162,128	41.5	158,327	40.5
その他コスト	(1)災害復旧費		0.0	89	0.0
	(1)公債費(利子分のみ)	19,821	5.1	17,700	4.5
	(2)不納欠損額	1,718	0.4	1,749	0.5
	小計	21,539	5.5	19,538	5.0
行政コスト A		398,367	101.9	390,955	100.0

項目 / 年度(平成)		16年度		17年度	
		金額	構成比	金額	構成比
1. 使用料・手数料等 B		39,930	9.9	38,852	10.2
B / A		10.0%		9.9%	
2. 国庫(県)支出金 C		58,401	14.5	58,225	14.1
C / A		14.7%		14.9%	
3. 一般財源 D		295,333	73.5	304,406	73.7
D / A		74.1%		77.9%	
4. 正味資産国庫(県)支出金償却額 E		8,068	2.0	8,091	2.0
収入(B+C+D+E)		401,732	100.0	409,574	100.0

第2次改革プランに基づく財政フレーム(平成17年3月策定)

一般財源ベース

(単位:億円)

項目 / 年度		17予算	18見込	19見込	20見込	21見込
歳入合計	A	3,270	3,417	3,586	3,726	3,856
市税		2,517	2,555	2,593	2,635	2,674
市債		192	153	126	104	89
減債基金過年度分借入金		50	148	298	448	548
土地売払収入		38	30	30	30	30
その他		473	531	539	509	515
歳出合計	B	3,368	3,604	3,788	3,866	3,918
人件費		1,010	1,015	1,041	999	970
扶助費		340	345	352	358	365
公債費		559	671	662	647	656
投資的経費		200	233	224	214	221
その他経費		1,259	1,340	1,509	1,648	1,706
減債基金からの借入れ	C	98	150	150	100	0
施策調整・事業見直し		-	37	52	40	62

A-Bの収支不足はCで対応

- ・平成18年度以降の市税等は、平成17年度予算に内閣府試算の実質経済成長率である1.5%(ただし、20年度のみ1.6%)を乗じて算定
- ・三位一体の改革については、平成17年度までの実施分のみを反映(ただし、臨時財政対策債は、平成17年度の削減率に基づき、その後の数字を積算)
- ・人件費は、給与改定による影響を見込まず
- ・人件費のうちの退職手当は退職予定者数を勘案して積算

主な出資法人の経営状況

		公益法人(公社)		公益法人(財団)								
		川崎市 土地開発公社	川崎市 住宅供給公社	川崎市 国際交流協会	川崎市指定都市 記念事業公社	川崎市 文化財団	川崎市 産業振興財団	川崎市 公園緑地協会	川崎市リサイクル 環境公社	かながわ廃棄物 処理事業団	川崎・横浜 公害保健センター	
資本金 (A)		20	10	300	10	30	100	131	100	303	10	
市出資金 (B)		20	10	300	10	30	100	131	100	70	7	
出資比率 (B/A) %		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	23%	66%	
貸借対照表	資産	流動資産	49,435	4,169	26	113	311	59	320	81	336	9
		固定資産(繰延含む)	396	10,316	300	1,311	86	137	531	117	10,094	183
		資産合計	49,831	14,485	326	1,424	396	196	851	198	10,430	192
	負債	流動負債	10,043	1,752	19	93	310	59	149	11	841	9
		固定負債	38,429	6,152	0	15	0	31	91	0	7,321	25
		特別法上の引当金等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		負債合計	48,472	7,904	19	108	310	90	240	11	8,162	34
	資本合計(正味財産)	1,359	6,581	307	1,316	86	106	611	187	2,268	158	
負債・資本(正味財産)合計	49,831	14,485	326	1,424	396	196	851	198	10,430	192		
収支計算書	当期収入合計	6,106	2,250	236	756	1,380	610	1,914	434	2,194	68	
	前期繰越収支差額	-	2,574	17	38	0	1	111	80	107	0	
	当期支出合計	5,869	2,233	246	776	1,380	589	1,840	445	2,185	68	
	当期収支差額	237	17	10	20	0	21	74	11	9	0	
	次期繰越収支差額	1,339 (注3)	6,571	7	18	0	22	185	69	116	0	
損益計算書	経常損益	営業収益	6,092	2,250	-	-	-	-	-	-	-	
		営業費用	5,869	2,233	-	-	-	-	-	-	-	
		営業損益	223	17	-	-	-	-	-	-	-	
		営業外収益	14	0	-	-	-	-	-	-	-	
		営業外費用	(注2) 0	0	-	-	-	-	-	-	-	
		経常利益	(注2) 237	17	-	-	-	-	-	-	-	
	特別損益	0	0	-	-	-	-	-	-	-		
	法人税等	0	0	-	-	-	-	-	-	-		
	当期利益(損失)	237	17	-	-	-	-	-	-	-		
	前期繰越利益(損失)	(注2) 1,102	2,574	-	-	-	-	-	-	-		
当期末処分利益(損失)	(注2) 1,339 (注3)	6,571	-	-	-	-	-	-	-			

1) かわさき港コンテナターミナル株式会社については、平成16年3月12日に破産宣告を受け、現在は清算を完了している。

2) 土地開発公社の前期繰越利益は前期繰越準備金、次期繰越収支差額および当期末処分利益は準備金合計である。

3) 川崎市住宅供給公社の当期末処分利益には、特定目的積立金3,980百万円を含む。

		公益法人(財団)										
		川崎市身体 障害者協会	川崎市心身障害者 地域福祉協会	川崎市看護師 養成確保事業団	川崎市 保健衛生事業団	川崎市 まちづくり公社	川崎市建設 技術センター	川崎市水道 サービス公社	川崎市消防 防災指導公社	川崎市 学校給食会	川崎市 生涯学習財団	
資本金 (A)		15	15	203	300	500	20	200	100	1	200	
市出資金 (B)		10	10	140	180	481	10	200	100	1	200	
出資比率 (B/A) %		69%	66%	69%	60%	96%	50%	100%	100%	100%	100%	
貸借対照表	資産	流動資産	37	27	8	112	6,223	51	35	48	238	171
		固定資産(繰延含む)	33	35	205	587	44,886	136	201	1,126	111	425
		資産合計	70	62	213	699	51,109	187	236	1,174	349	596
	負債	流動負債	20	10	8	76	12,222	22	34	32	188	109
		固定負債	10	1	0	0	36,526	46	0	1,046	112	54
		特別法上の引当金等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		負債合計	30	11	8	76	48,748	68	34	1,078	300	163
資本合計(正味財産)		40	51	205	623	2,361	119	202	96	49	433	
負債・資本(正味財産)合計		70	62	213	699	51,109	187	236	1,174	349	596	
収支計算書	当期収入合計		204	54	113	1,161	24,696	279	253	144	2,838	1,167
	前期繰越収支差額		2	19	0	36	1,468	28	0	35	29	22
	当期支出合計		189	56	113	1,154	24,992	279	252	164	2,819	1,128
	当期収支差額		15	2	0	7	296	0	1	20	19	39
	次期繰越収支差額		17	17	0	43	1,172	28	1	15	48	61
損益計算書	経常損益	営業収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		営業費用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		営業損益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		営業外収益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		営業外費用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		経常利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別損益		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	法人税等		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	当期利益(損失)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	前期繰越利益(損失)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期末処分利益(損失)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

4)川崎市下水道公社は平成16年度末に組織解散

5)川崎市在宅福祉公社は平成17年度末に組織解散

		公益法人(株式会社)				
		かわさき市民 放送株式会社	川崎アゼリア 株式会社	川崎冷蔵 株式会社	川崎臨港倉庫 株式会社	
資本金 (A)		140	5,000	50	100	
市出資金 (B)		77	2,143	40	50	
出資比率 (B/A) %		55%	42.8%	80%	50%	
貸借対照表	資産	流動資産	81	6,063	148	744
		固定資産(繰延含む)	27	20,233	467	1,411
		資産合計	108	26,296	615	2,155
	負債	流動負債	4	3,267	18	63
		固定負債	2	15,288	1,159	73
		特別法上の引当金等	0	0	10	0
		負債合計	6	18,555	1,187	136
	資本合計(正味財産)		102	7,741	572	2,019
負債・資本(正味財産)合計		108	26,296	615	2,155	
収支計算書	当期収入合計		-	-	-	-
	前期繰越収支差額		-	-	-	-
	当期支出合計		-	-	-	-
	当期収支差額		-	-	-	-
	次期繰越収支差額		-	-	-	-
損益計算書	経常損益	営業収益	78	2,895	510	691
		営業費用	76	1,936	445	515
		営業損益	2	959	65	176
		営業外収益	0	212	3	0
		営業外費用	0	158	31	0
		経常利益	2	1,013	37	176
	特別損益		0	2	800	61
	法人税等		1	413	0	80
	当期利益(損失)		1	1,015	763	35
	前期繰越利益(損失)		39	0	9	70
当期末処分利益(損失)		38	602	(注6) 772	105	

6)川崎アゼリアは平成19年10月1日付けで川崎地下街から商号変更

7)川崎冷蔵の当期損失は会計処理方法を改善のため減価償却費未計上分を一括計上したため発生したものである。この減価償却分は貸借対象では固定資産から減額している。

債務負担行為の状況(平成18年度普通会計決算)

(単位:百万円)

区 分	限度額	平成19年度 以降の支出 予定額	財源内訳			
			国・県支出金	地方債	その他	一般財源等
物件購入に係るもの	252,437	91,364	8,371	17,710	1,138	64,145
土地の購入に係るもの	167,653	51,320	786	6,256	1,043	43,235
建造物の購入に係るもの	42,472	19,580	2,241	5,922	0	11,417
その他	42,312	20,464	5,344	5,532	95	9,493
債務保証又は損失補償に係るもの	5,540,543	0	0	0	0	0
地方三公社に係るもの	53,300	0	0	0	0	0
地方三公社以外の法人に係るもの	239,969	0	0	0	0	0
共同発行債に係るもの	5,244,200	0	0	0	0	0
その他	3,074	0	0	0	0	0
その他	96,570	60,383	21,757	0	346	38,280
合 計	5,889,550	151,747	30,128	17,710	1,484	102,425

総合的土地対策計画

1. 第1次及び第2次総合的土地対策計画(平成12～20年度)の進捗状況

先行取得用地保有額 (単位:億円、%)

年度末(平成)	12年度当初 (A)	19年度末 見込み額(B)	縮減額 (A-B)	縮減率 1-(B/A)
3制度の合計	2,153	866	1,287	59.8%
土地開発公社	1,311	460	851	64.9%
公共用地先行取得等事業特別会計	774	389	385	49.7%
土地開発資金	68	16	52	76.5%

制度ごとに端数処理しているため、合計と一致しないことがある。(以下表同じ)

2. 第3次総合的土地対策計画(平成18～22年度)における目標

先行取得用地保有額 (単位:億円、%)

年度末(平成)	17年度末 (B)	22年度末 目標額(C)	縮減額 (B-C)	縮減率 1-(C/B)
3制度の合計	1,031	558	473	45.9%
土地開発公社	539	323	216	40.1%
公共用地先行取得等事業特別会計	467	219	248	53.1%
土地開発資金	25	16	9	36.0%

(単位:億円、%)

対12年度当初 縮減額(A-C)	対12年度当初 縮減率1-(C/A)
1,595	74.1%
988	75.4%
555	71.7%
52	76.5%

17年度末の数値は計画策定時は見込みであったが、決算において保有額が確定したため時点修正している

3. 第3次総合的土地対策計画(計画期間:平成18～22年度)の基本方針及び具体的取組内容

(基本方針)

平成16年12月に国の支援措置として、新たな「土地開発公社経営健全化対策」が示されたことから、新総合計画及び事務事業総点検等を踏まえ、現行の「第2次総合的土地対策計画」のローリングを実施して、長期保有土地の計画的な事業化等による早期再取得、用途不明確土地に対する新規目的設定及び貸付・売却等による有効活用を図ることにより、残された土地問題の課題解決に取り組み、更なる保有総量の縮減を目指す

(具体的な取組内容)

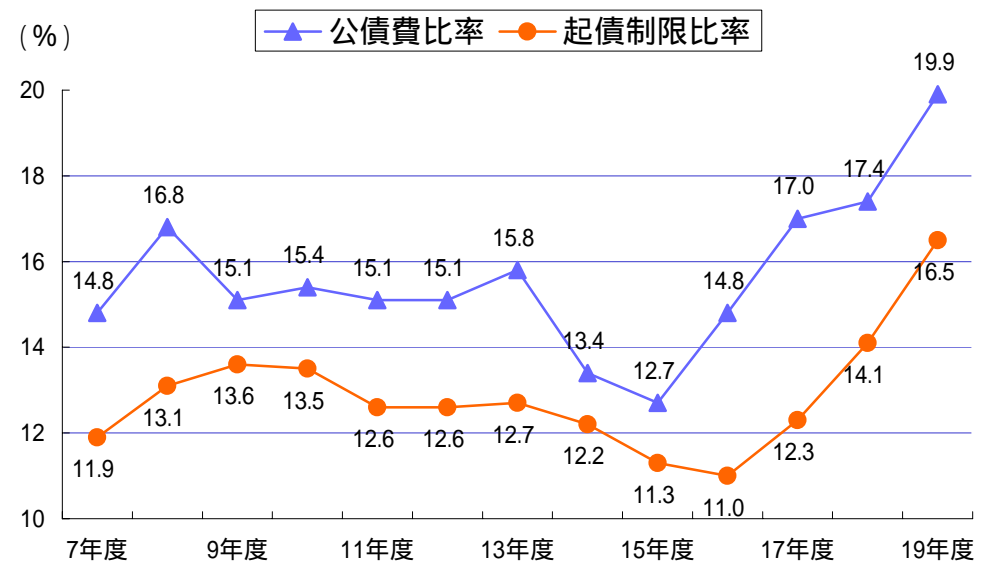
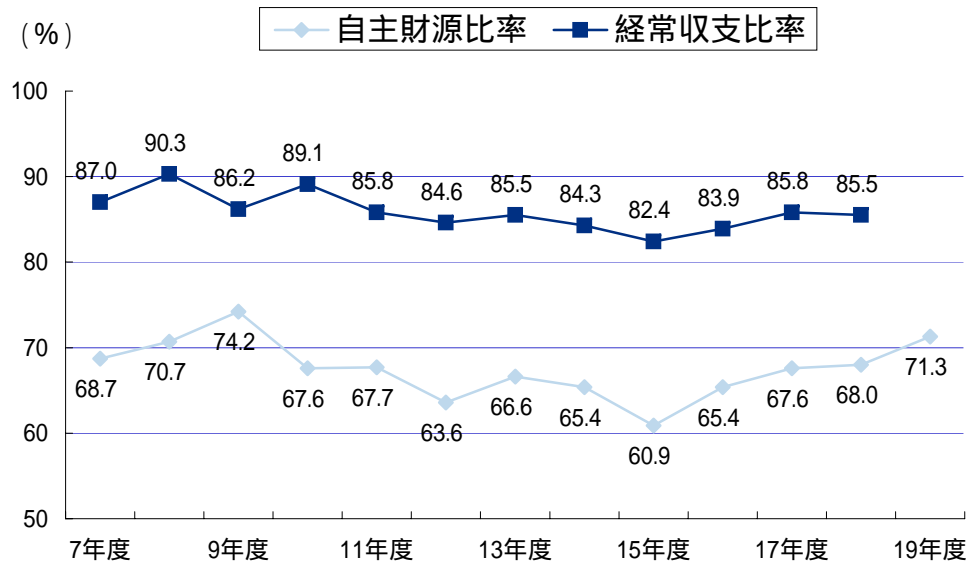
- (1)長期保有土地(5年以上)の計画的な再取得
面積315,151.66㎡、保有額975億円
(全体の約94%)(平成17年度末現在)
- (2)用途不明確土地の解消
- (3)貸付・売却等の実施
- (4)土地開発公社経営健全化対策の活用

財政関係指標の推移

(単位: %)

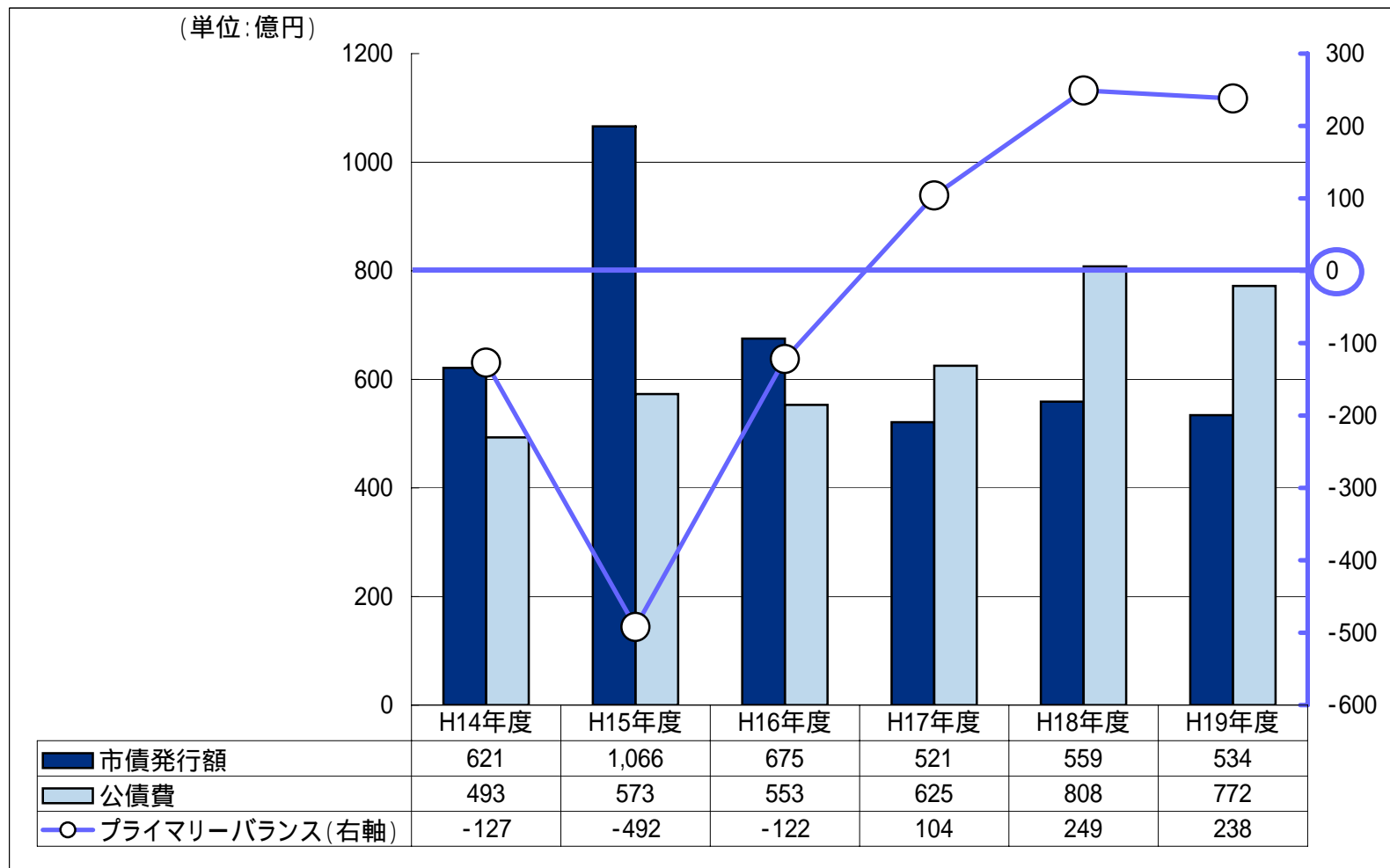
区分 / 年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
自主財源比率	68.7	70.7	74.2	67.6	67.7	63.6	66.6	65.4	60.9	65.4	67.6	68.0	71.3
財政力指数(3年度平均)	1.076	1.057	1.029	0.999	0.964	0.941	0.932	0.946	0.974	0.999	1.021	1.041	1.060
経常収支比率	87.0	90.3	86.2	89.1	85.8	84.6	85.5	84.3	82.4	83.9	85.8	85.5	-
公債費比率	14.8	16.8	15.1	15.4	15.1	15.1	15.8	13.4	12.7	14.8	17.0	17.4	19.9
起債制限比率	11.9	13.1	13.6	13.5	12.6	12.6	12.7	12.2	11.3	11.0	12.3	14.1	16.5

19年度は当初予算ベース



(注) 経常収支比率は、13年度以降、臨時財政対策債などを含めて算出

一般会計基礎的財政収支(プライマリーバランス)



H18年度までは決算、H19年度は当初予算

基金積立金現在高

(単位:百万円)

基金名 / 時点	H15.3.31	H16.3.31	H17.3.31	H18.3.31	H19.3.31	前年比 増減額	基金の概要
減債基金	86,500	83,090	73,945	68,043	68,461	418	計画的に積立を行い、市債の償還財源を確保する基金
財政調整基金	4,423	726	1,143	1,775	2,165	390	余裕財産の積立や積立金取崩しにより財源調整を行う基金
特定目的基金(元本取崩型)	24,412	24,538	26,278	27,380	28,576	1,196	積立金・運用収益を特定の目的・事業に使用する基金
鉄道整備事業基金	9,210	9,718	9,728	9,738	10,064	326	鉄道及び軌道整備事業並びに新駅設置の資金に充てる基金
港湾整備事業基金	7,339	3,652	2,615	2,720	2,957	237	港湾整備事業の資金に充てる基金
介護保険給付費準備基金	2,987	3,291	3,378	2,866	2,204	662	介護保険事業の保険給付等の資金に充てる基金
他7基金	4,876	7,877	10,557	12,056	13,351	1,295	
特定目的基金(果実運用型)	8,313	8,656	8,885	8,820	8,456	364	元本は維持し、運用収益を特定の目的・事業に使用する基金
緑化基金	3,541	3,914	4,149	4,195	3,703	492	民有地緑化推進事業の資金に充てる基金
資源再生化基金	848	858	868	878	888	10	資源再生化事業の資金に充てる基金
長寿社会福祉振興基金	806	811	821	798	1,117	319	地域福祉事業の資金に充てる基金
他9基金	3,118	3,073	3,047	2,949	2,748	201	
定額運用基金	18,669	8,307	8,345	9,444	9,568	124	土地・用品等の購入・売却を繰り返し、回転運用する基金
土地開発基金	18,669	8,307	8,345	9,444	9,568	124	公共用若しくは公用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得する資金に充てる基金
合 計	142,317	125,317	118,597	115,462	117,226	1,764	

財政調整基金・減債基金の推移

財政調整基金の推移(出納閉鎖期末)

(単位:百万円)

年度(平成)	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
積立額	1,968	1,493	1,003	948	762	673	579	479	446	432	235	303	580	514	345
取崩額	3,000	6,500	0	3,500	1,400	6,090	8,400	500	1,800	4,500	4,000	0	0	0	254
残高	30,063	25,056	26,059	23,507	22,869	17,452	9,631	9,610	8,256	4,188	423	726	1,306	1,820	1,911

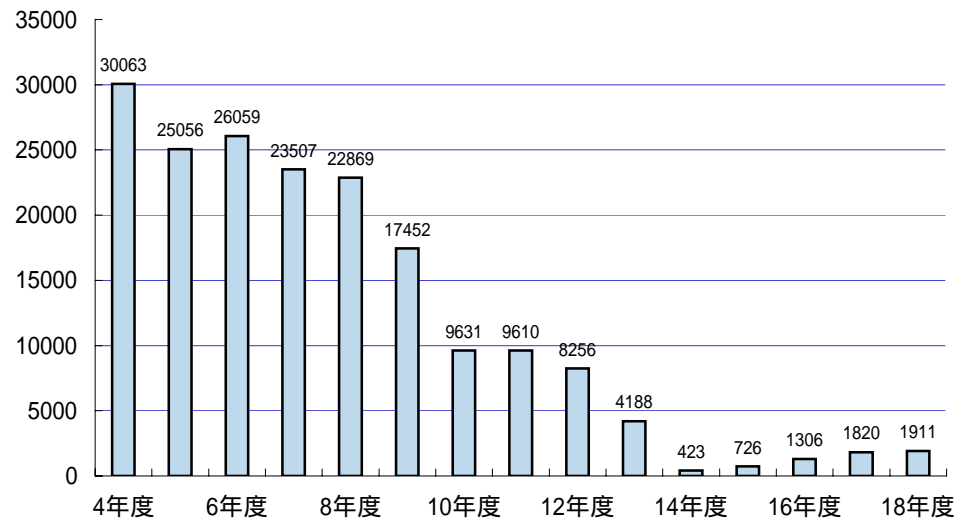
減債基金の推移(出納閉鎖期末)

(単位:百万円)

年度(平成)	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
積立額	3,954	3,632	12,061	8,894	9,838	18,105	11,746	13,636	29,947	22,207	15,833	14,420	18,918	22,716	25,892
取崩額	1,000	54	2,197	6,069	13,363	5,572	3,900	1,856	2,165	19,623	19,245	23,573	24,818	22,398	32,935
残高	11,164	14,742	24,606	27,431	23,906	36,439	44,285	56,065	83,847	86,431	83,019	73,866	67,966	68,284	61,241

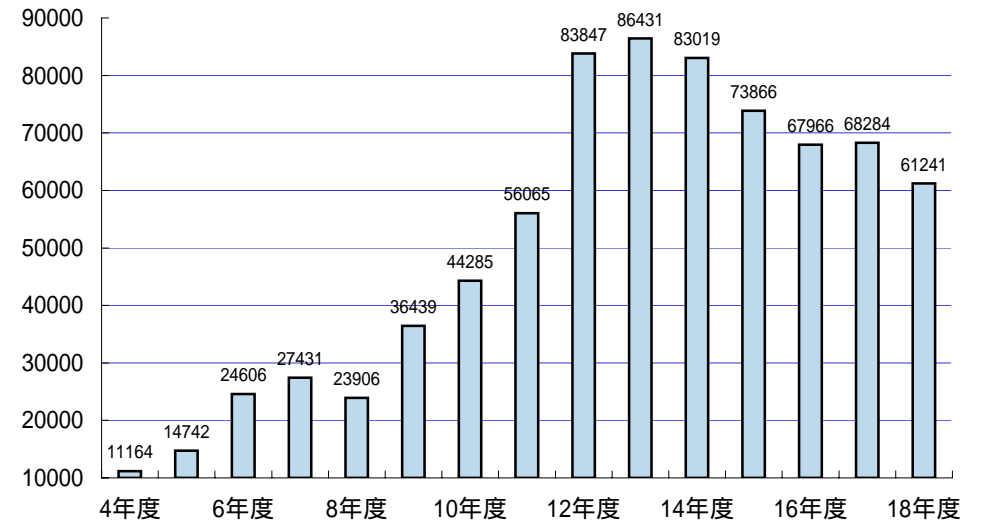
【財政調整基金残高の推移】

(百万円)



【減債基金残高の推移】

(百万円)



市債残高・市債発行額及び公債費の推移

1. 総額(一般会計)

(単位:億円)

区分/年度(平成)	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
市債残高(年度末)	4,351	4,944	5,279	5,536	6,025	6,732	7,284	7,657	8,059	8,806	9,085	9,150	9,145	9,228
通常債	4,176	4,614	4,766	4,946	5,350	6,030	6,550	6,817	7,021	7,438	7,459	7,335	7,158	7,094
市債発行額	867	852	727	560	759	541	804	682	744	1,228	675	521	559	560
通常債	692	696	543	484	674	514	771	573	544	894	414	328	384	390

通常債は、減税補てん債、臨時税収補てん債、臨時財政対策債及び退職手当債を除いた額。

19年度は当初予算ベースに前年度繰越分を加えている

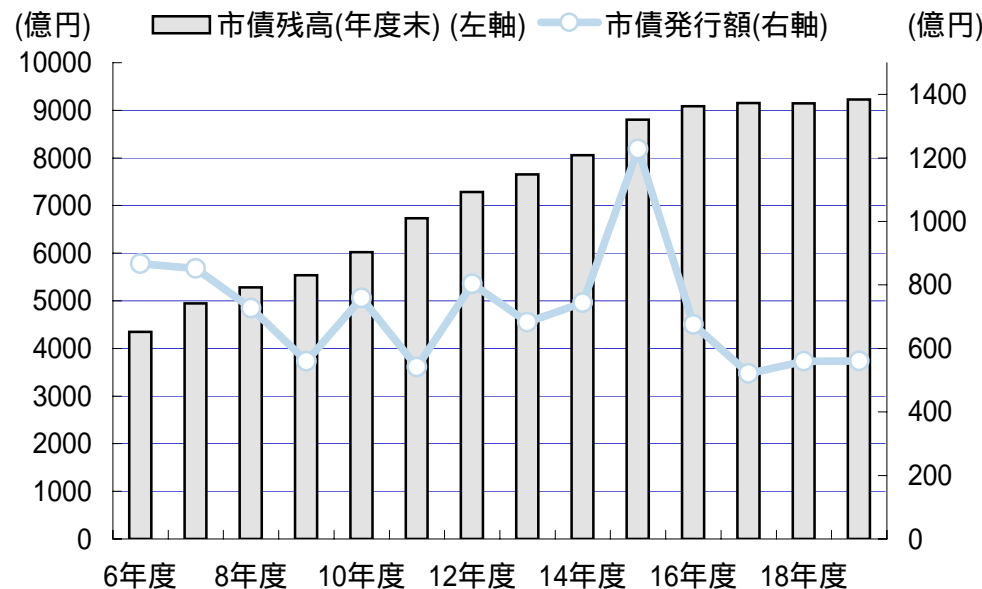
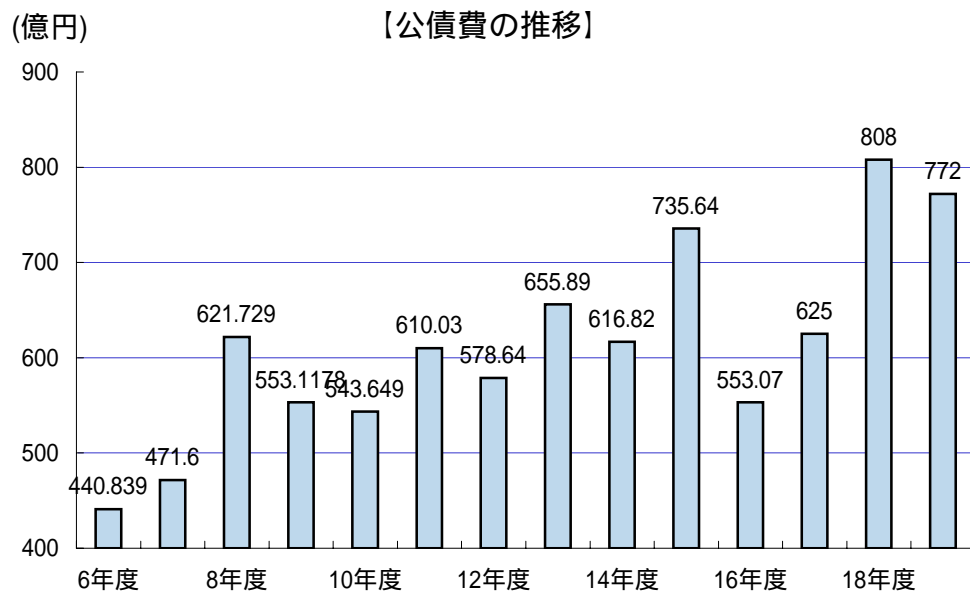
2. 公債費(一般会計)

(単位:億円)

区分/年度(平成)	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
公債費	441	472	622	553	544	610	579	656	617	736	553	625	808	772

性質別決算項目の公債費

19年度は当初予算ベース



市場公募債の発行状況

1. 発行額の推移

(単位: 億円)

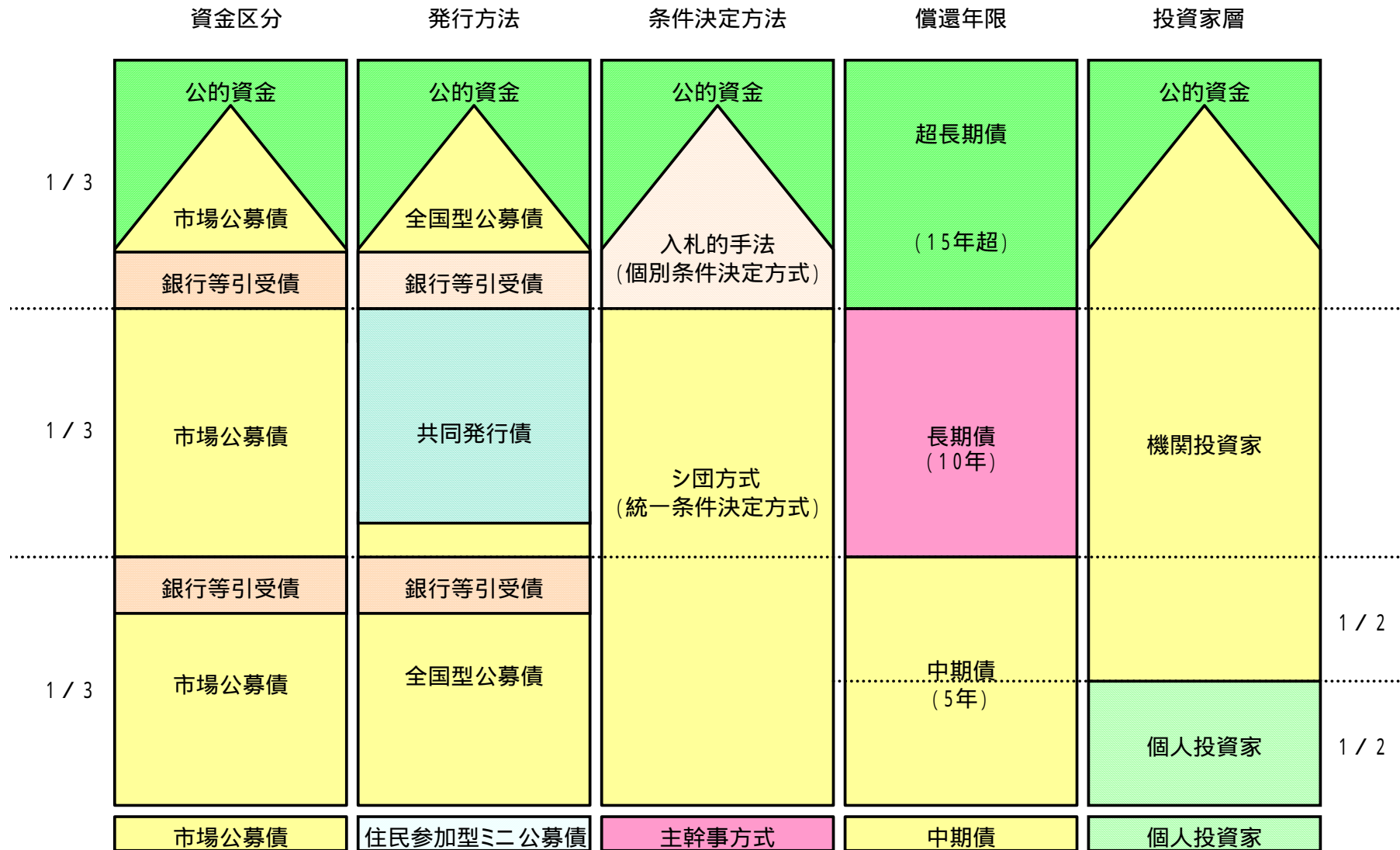
区分 / 年度(平成)		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
個別発行	5年債	**	**	**	**	**	**	200	200	250	300	350	400	350
	10年債	290	340	350	350	360	500	300	350	300	0	0	100	100
	15年債	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	150	200	100
	20年債	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	100
	30年債	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	100
	住民参加型 ミニ公募債	**	**	**	**	**	**	**	**	**	**	20	20	20
小計		290	340	350	350	360	500	500	550	550	320	520	770	770
共同発行(10年債)		**	**	**	**	**	**	**	**	**	400	450	450	450
総計		290	340	350	350	360	500	500	550	550	720	970	1,220	1,220

各年度とも実績額

2. 平成18年度の発行条件(共同発行債を除く)

区分	5月	6月	8月	9月	10月	11月	1月	2月
償還年限	5年	10年	30年	6年 (ミニ公募)	20年	5年	5年	15年
発行額	100億円	100億円	100億円	20億円	100億円	100億円	150億円	100億円
表面利率	1.40%	2.00%	2.82%	1.32%	2.43%	1.37%	1.43%	2.11%
発行価格	99.55円	99.90円	100.00円	100.00円	99.93円	99.95円	99.99円	100.00円
応募者利回り	1.496%	2.012%	2.820%	1.320%	2.435%	1.381%	1.432%	2.110%

平成19年度 市債発行に関する基本的な考え方



平成19年度 市債発行計画(全会計ベース)

下段()内は平成18年度計画額 単位:億円

区 分		発行年限 構成比	発行 総額	19年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	20年	2月	3月	時期未定		
				4月									1月			4月	5月	
市場公募債	川崎市個別発行	全国型市場公募地方債	5年	300 (350)		(100)	100			100	(100)		100 (150)					
		住民参加型ミニ市場公募地方債	5年	20 (20)						(20)			20					
		全国型市場公募地方債	10年	100 (100)			(100)				100							
		全国型市場公募地方債	15年	100 (100)											100 (100)			
		全国型市場公募地方債	20年	100 (100)			100											
		全国型市場公募地方債	30年	100 (100)					(100)			100						
	小 計		720 (770)	0 (0)	0 (100)	100 (100)	100 (0)	0 (100)	0 (20)	300 (100)	0 (100)	20 (0)	100 (150)	100 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	共同発行市場公募地方債	10年	350 (450)	50 (50)	50	50 (50)	50 (50)	50 (50)	50 (50)	(50)	(50)	(50)	50 (50)		50 (50)			
合 計	69.9% (75.7%)	1,070 (1220)	50 (50)	50 (100)	150 (150)	150 (50)	50 (150)	0 (70)	300 (150)	0 (150)	70 (50)	100 (150)	100 (100)	50 (50)	0 (0)	0 (0)		
銀行等引受債	証券発行又は証書発行	5年(一部4年)	103 (139)		(48)										36 (11)	67 (80)		
	証券発行又は証書発行	10年	101 (64)						21							80 (64)		
	証券発行又は証書発行	超長期	100 (45)												(45)	100 (0)		
	合 計	19.8% (15.4%)	304 (248)	0 (0)	0 (48)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (56)	247 (144)		
民間資金(市場公募+銀行等引受)		89.8% (91.0%)	1,374 (1468)	50 (50)	50 (148)	150 (150)	150 (50)	50 (150)	21 (70)	300 (150)	0 (150)	70 (50)	100 (150)	100 (100)	86 (106)	0 (0)	247 (144)	
公的資金		10.2% (9.0%)	156 (145)													156 (145)		
全会計合計		100.0% (100.0%)	1,530 (1613)													0		

金利リスクを回避するため発行年限のバランス化を図ります。

中期、長期、超長期の構成比

28.4% 36.0% 35.6%

公募債の一定規模を維持しつつ、銀行等引受債の市場化を図ります。 民間資金(市場公募債、銀行等引受債)の構成比

77.9% 22.1%

平成19年度 市債引受シンジケート団引受率表

(平成19年4月1日から適用 単位:%)

金融機関名		5年債 市場公募債	
幹事団	代表幹事 (事務取扱)	横浜銀行 代表幹事預り分	20.00 0.00
	副代表幹事	野村證券	13.00
	幹事	日興シティグループ証券	12.00
		みずほ銀行	8.00
		大和証券エスエムピーシー	7.00
		新光証券	6.00
	引受団	幹事候補	みずほインベスターズ証券
三菱東京UFJ銀行			5.10
三菱UFJ証券			4.50
みずほ証券			3.60
川崎信用金庫			3.30
三井住友銀行			2.80
ゴールドマン・サックス証券			1.60
岡三証券			1.50
モルガン・スタンレー証券			1.30
東洋証券			1.30
クレディ・スイス証券			1.20
セレサ川崎農業協同組合			1.20
丸三証券			1.10
合計			100.00

(平成19年4月1日から適用 単位:%)

金融機関名		10年債 市場公募債	
幹事団	代表幹事 (事務取扱)	横浜銀行 代表幹事預り分	20.00 0.00
	副代表幹事	野村證券 みずほ銀行	9.00 9.00
	幹事	三菱東京UFJ銀行	8.00
		大和証券エスエムピーシー	8.00
		日興シティグループ証券	8.00
		三井住友銀行	6.00
	引受団	幹事候補	りそな銀行
新光証券			4.30
三菱UFJ証券			3.70
みずほインベスターズ証券			3.60
みずほ証券			2.40
川崎信用金庫			2.40
メリルリンチ日本証券			2.20
ゴールドマン・サックス証券			1.80
ドイツ証券			1.80
モルガン・スタンレー証券			1.20
岡三証券			1.10
J.P.モルガン証券			1.00
丸三証券			1.00
クレディ・スイス証券			1.00
合計			100.00

(平成19年4月1日から適用 単位:%)

金融機関名		銀行等引受債		
幹事団	代表幹事 (事務取扱)	横浜銀行 代表幹事預り分	30.00 0.00	
	幹事	みずほ銀行	16.00	
		三菱東京UFJ銀行	16.00	
		三井住友銀行	15.00	
		りそな銀行	7.00	
	引受団	幹事候補	川崎信用金庫	4.70
			横浜信用金庫	1.40
城南信用金庫			1.30	
セレサ川崎農業協同組合			1.30	
八千代銀行			1.30	
芝信用金庫			1.20	
神奈川銀行			1.20	
さわやか信用金庫			1.20	
東日本銀行			1.20	
世田谷信用金庫			1.20	
合計	100.00			

【平成19年度のシ団見直しに対する基本的な考え方】

- (1)シ団メンバー・引受シェアについては、定期的な見直し、入替えを進めるとともに、幹事権限を強化しつつ、主体的に決定する。
- (2)安定性、競争性、透明性の観点から、客観的な指標を用いながら、発行年限や対象投資家層の特性に応じて、定量的評価と定性的評価からなる適切な基準を設け、原則1年毎に見直すこととする。
- (3)メンバーの特別な責任と資格の付与について明確にしていく。

川崎市 新総合計画「フロンティアプラン」



重点戦略プラン 計画事業費

(単位:百万円)

プラン名	H17年度	H18年度	H19年度	合計
安全・安心な地域生活環境の整備	4,767	5,378	6,120	16,265
高齢社会を支え合う地域福祉社会づくり	1,849	1,181	872	3,902
総合的な子ども支援	10,140	13,246	11,288	34,674
環境配慮・循環型の地域社会づくり	762	1,114	1,117	2,993
憩いとうるおいの環境づくり	3,997	7,363	5,064	16,424
川崎の活力を生み出す産業イノベーション	267	239	225	731
川崎臨海部の再生と都市拠点・ネットワークの整備	22,265	29,147	27,715	79,127
川崎の魅力を育て発信する取組	1,594	2,228	2,135	5,957
市民自治と区役所機能の拡充	663	777	1,088	2,528
総合計	46,302	60,675	55,623	162,600

プランごとに端数処理しているため、合計と一致しない場合がある

今後の重要施策～ 神奈川口構想

神奈川口構想

羽田空港の再拡張・国際化により、国内各地や海外との間で、人やモノ・情報の交流が一層活性化することが期待されます。

そこで、再拡張・国際化の効果を京浜臨海部や神奈川県経済の活性化につなげるため、多摩川を渡る羽田側との連絡路等を整備するとともに、空港の対岸地域に、再拡張・国際化に対応した新たな交流拠点を形成する「神奈川口」の整備に向けて取り組んでいます。



共同住宅(プロバイスほか、東レほか)
商業施設(島忠)、コマツ教習所等

共同住宅(都市機構、プロバスト)
川崎大師祈禱殿、河川防災ステーション等

ヨドバシカメラ(組立・配送センター)

神奈川口対象エリア…羽田空港の対岸に位置する「塩浜周辺地区」

(都市再生緊急整備地域「川崎殿町・大師河原地域」約107haを含む、約113ha)

ゾーン	導入を目指す機能(「塩浜周辺地区」整備計画の現段階の取りまとめ案から抜粋)
商業ゾーン	商業・業務機能が立地する拠点形成を図ります。
都市型居住・交通機能等ゾーン	良好な住環境の形成を図ります。
住環境ゾーン	良好な住環境の誘導を図ります。
商業・業務・レクリエーション・交流ゾーン	商業・業務機能・レクリエーション・交流機能を中心とした複合機能の導入を図ります。
研究開発・業務・交流ゾーン	空港関連の機能や研究開発・業務機能の導入を図ります。
物流(流通加工)ゾーン	物流機能を中心とし、地区への集客を担う商業機能の導入を図ります。

殿町3丁目の大規模工場跡地では、空港との近接性を活かしたまちづくりを進め、臨海都市拠点としての整備を推進します。

都市再生緊急整備地域「川崎殿町・大師河原地域」

都市再生特別措置法に基づき、都市再生の拠点として、都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として指定(平成14年10月25日)

整備目標	首都高速道路横羽線等の広域交通の結節点である殿町・大師河原地域において、羽田空港への近接性や多摩川に面した優れた地域特性を活かし、大規模工場跡地を活用した複合拠点を形成する
都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	河川に面した良好な居住機能の強化に併せて、業務、商業機能の導入 優れた立地特性を活かした、物流機能、先端産業等の導入

「神奈川口構想に関する協議会」(国土交通省、神奈川県、川崎市、横浜市)

空港機能の分担、神奈川方面からの空港アクセスの改善、都市再生・まちづくりの支援、集客プロモーションの推進、港湾機能の強化、産業の活性化の促進等について検討

今後の重要施策～ 都市基盤整備事業計画

1) 川崎駅西口地区整備事業計画

- ・対象地：川崎市幸区堀川町ほか
- ・JR川崎駅西口に面した地区であり、市の広域拠点としてふさわしい整備を行う。
- ・商業、業務、文化施設、都市型住宅が立地する複合市街地への転換を促進するとともに、都市基盤の整備、交通結節機能の強化を図り、住環境の整備改善を行なう。

2) 新川崎地区整備事業計画

- ・対象地：新鶴見操車場跡地ほか(川崎市幸区小倉ほか)
- ・民間活力等の導入による適正な市街地整備を地区計画により誘導し、創造、活力、ゆとり、安心の融合した新たな地域生活拠点地区の形成を推進する。
- ・慶應義塾との共同事業であるケイスクエアタウンキャンパスやK B I C (かわさき新産業創造センター)を核とした、ものづくり・研究開発機能と、緑を中心とした憩いや交流・学びなどの機能を備えた特色あるまちづくりを推進する。

3) 小杉駅周辺地区開発計画

- ・対象地：小杉駅南部地区ほか
- ・幹線道路の整備を進め、魅力と活力に溢れた広域的な都市拠点としてのまちづくりを進める。
- ・再開発事業に併せ、公共公益施設の駅周辺への再配置を行い、駅を中心とした利便性の高いまちづくりを進める。
- ・JR横須賀線武蔵小杉新駅の整備を推進し、交通機能の強化により都市機能の向上を図る。
- ・地域、民間事業者及び行政の協働の取組により、本市の新たな玄関口にふさわしい都市景観の形成など都市の魅力向上を図る。

川崎市アクセスマップ

川崎市の特徴
首都圏の好位置にある優位性 道路・鉄道・空港など交通利便性の高さ

